

教会学校

【目的】

子供の心を神様の心と一つにすること。

【取り組むこと】

- ① 学年ごとのクラスで、聖書や司教様が公認した教科書を使い、カテキズム（聖書と聖伝）を学ぶ。……通常の授業、黙想会、初聖体の授業など。
教科書を使うので、カテキズム以外のこと(例えばリーダー自身の考えなど)を教会の教えとして話すことはありません。
- ② 信仰体験を培う。……ミサで男子は侍者を、女子は天使の奉仕を手伝う。また聖歌隊の参加など。
- ③ まずお祈りから始める。お祈りなしには何も始めない。……通常の授業、敬老のお祝い、病院訪問など。
- ④ 聖体・告解などの秘跡を受ける。……ミサ、四旬節、待降節、初聖体など。
- ⑤ 隣人を大切にすることを学ぶ。自然に触れながらその創造主である神様に感謝する。……キャンプ、遠足。
- ⑥ 信仰の模範として聖なる信者たちのゆるぎない信仰を学ぶ。……聖地・殉教地の巡礼。

【教会学校のプログラム】

9時30分ミサ後～集まって、お茶やお菓子を頂きながら皆で歓談する。

10時50分～全員で十戒を唱え、聖歌を歌う。

11時00分～ロザリオを一連、お祈りする。

11時10分～幼稚園児のクラス、低学年（1・2年）のクラス、中学年（3・4年生）のクラス、高学年（5・6年生）のクラスに分かれて、教科書を使って、カテキズムを学ぶ。

11時40分～リーダーや神父様との交流のため、中庭で遊ぶ。

正午頃 解散。

【保護者の皆様に対して】

- ①教会学校の中で問題があれば、積極的に神父様かリーダーにご相談下さい。お互いの意思の疎通のための話し合いの場、環境作りに配慮したいと思います。
- ②初聖体や七五三、クリスマス会などご父兄のお手伝いの時間は、昨年通り、ミサを最優先するために9時30分ミサの時間帯を避けて、完全にミサが終了した後にお問い合わせ致します。お手伝いのメンバーは、ご家族のみでお願いします。
- ③バザーの準備や遠足等についても主日のミサに与ることを優先し、ミサに与らないで行事に参加することがないようにお子様にご指導下さい。
- ④お子様が教会学校で又は家庭でカテキズムを学ぶよう積極的にご指導下さい。この小学生の時期に学ばないと、段々と教会の教えを学ぶ機会や時間が取れなくなることがあります。
- ⑤お子様が、教会の信者さんと直接、メール・携帯電話や贈り物などのやりとりをすることのないように、ご注意ください。そのようなケースがある場合、必ずご両親が仲介する方法に切り替えて下さい。

【スタッフ】指導司祭アンジェイ神父様、安井達リーダー、伊藤恭輔リーダー、内藤斉リーダー、野口暢子リーダー、松原治香リーダー、山田恵美子リーダー、小川望美リーダー、笠原千紗子リーダー